



地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所（環農水研）
水産研究部水産支援グループ 担当：辻村・木村
TEL：072-495-5252 FAX：072-495-5600

プレスリリース

令和3年5月21日 14:00

府政記者会 関西空港記者会 会員各位
水産経済新聞 みなと新聞 各位

ヒラメの稚魚を栽培漁業センターへ受け入れ！ 全長8cmまで育てて大阪湾へ放流

環農水研では大阪湾の魚介類資源を増やすため、魚介類の稚魚を育てて、放流する「栽培漁業」を大阪府および栽培漁業センター※1とともに推進しています。5月13日にヒラメの種苗を栽培漁業センターが購入し、中間育成を開始※2しました。

大阪府海域へのヒラメの大量放流は平成4年から行われています。それまで数トンだった漁獲量が、放流後は10トン前後まで増加しました。また、継続的に混入率調査（漁獲物に含まれる放流魚の割合）を環農水研が行っており、概ね20～30%となっています。

受け入れたヒラメは無眼側（裏側）の模様の特徴を記録します。この模様は大きくなっても変わらないため、放流後、漁獲されたヒラメを調査した時に、放流魚か天然魚かを区別することが出来ます。

ヒラメは成長が早く、今月末には全長8cm前後まで成長する予定です。その後、大阪府沿岸に放流され、年内には漁獲サイズ（大きさ約35cm）まで成長します。漁獲されたヒラメは、府民の皆さまの食卓に届くことになりそうです。

※1 公益財団法人大阪府漁業振興基金栽培事業場

※2 大阪府が漁業振興基金に稚魚の育成・放流等を業務委託しています。

記

受入魚種：ヒラメ

受入尾数：11万尾

受入サイズ：平均全長6.4cm

受入日：5月13日（木）

放流予定：6月上旬（全長8cm）

放流後の成長：今年末に全長約35cm（体重約400g）の漁獲対象サイズになる見込み

（次ページに写真資料）



受入の様子（籠詰めされ活魚車で輸送される）



水槽へ収容の様子



ヒラメ種苗